



竹内 ゆう子
連絡先 090-8519-7017



からさわ 地平
090-3834-7740

武蔵台小学校と府中第七小学校を統合検討校に指定

学校施設改築・長寿命化改修計画(案)のパブリックコメント実施中

府中市は市立小中学校の整備計画を定めた「第2次府中市学校施設改築・長寿命化改修計画(案)」の策定を進めています。同計画案では、次期改築校として「第五小学校」と「第九小学校」を指定するほか、統合検討校として「武蔵台小学校」と、「第七小学校」、および「第七中学校」と「第十中学校」が指定される見通しです。

昨年12月に、府中市学校適正規模・適正配置検討協議会は児童・生徒数が減少している武蔵台小学校および第七中学校について隣接している学校との「統合が有効である」との答申を提出しました。今回の計画は答申を受けて、老朽化が進む武蔵台小と第七小学校を統合したのち、改築をおこなうものです。

学校の統廃合は府中市では初めてです。学校施設は地域の拠点でもあり、より丁寧な説明が求められます。

同計画のパブリックコメント実施中



回答は1月14日まで
計画の閲覧・回答は、
左のQRコードまたは
市役所・文化センター等で

具体的な整備スケジュール(案)

【次期改築実施校】

- ・第五小学校、第九小学校が対象
- ・令和7～9年度に基本構想、設計など策定
- ・令和10年度より改築工事。

【統合検討校(第1グループ)】

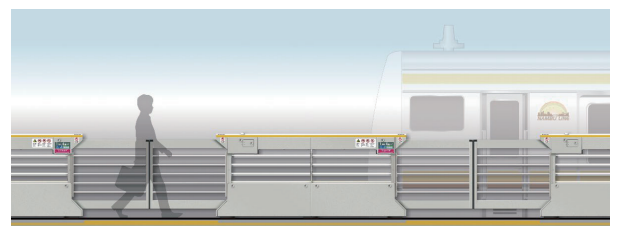
- ・武蔵台小学校、第七小学校が対象
- ・令和7～8年度を統合準備期間
- ・令和9～11年度に基本構想、設計を策定
- ・令和12年度より改築工事(場所等未定)

JR分倍河原駅のホームドアが12月21日より使用開始

京王線各駅へのホームにもすみやかな設置を

JR南武線分倍河原駅でホームドア設置工事が始まり12月21日より使用開始されます。府中市は事業費の6分の1にあたる3346.6万円を今年度予算に計上していました。

日本共産党府中市議団は駅のバリアフリー化、事故防止のため市内全駅のホームドア設置を鉄道事業者に求めてきました。JRについては分倍河原駅、西府駅で設置が進みましたが、京王線はホームドアを設置している駅はありません。「2030年代前半の全駅ホームドア設置」を京王電鉄が発表していますが、よりすみやかな設置を求めています。



設置される「スリットフレームホームドア」イメージ図(JR東日本より)

【掲載内容のお詫び】

市議団ニュース11月号で「マイナ保険証」を持っている人も申請によって「資格確認書」が交付できる旨の記述がありましたが、これは介護等で配慮が必要な方向けの対応です。不正確な情報を掲載してしまい、申し訳ありませんでした。

ご意見・ご要望をお寄せください

FAX 042-364-6590 Mail: shigidan@jcp-fuchu.com

過去の議会活動・ニュースは
ホームページで公開しています。

<http://jcp-fuchu.com/fuchushigidan/>



児童虐待防止への対応強化

児童相談所サテライト オフィスを府中市にも



毎年虐待が原因で亡くなる子どもは50人前後に及ぶとされています。虐待に対する相談対応の件数は毎年増え続けていますが児童相談所の体制が追いついていません。

市単独での児童相談所の設置基準は都道府県のほか政令指定都市や人口30万人規模の中核市に設置できるとされています。府中市は多摩児童相談所の管轄(府中、多摩、調布、稲城、狛江の5市を担当)となっていますが、5市の中でも相談件数が多い一方、所在地までの距離の問題があげられます。

府中市と同様に相談の多い調布市では、児童相談所の設置を求める意見書が東京都に提出されたことから児童相談所の連携拠点「サテライトオフィス」の設置が検討されています。

サテライトオフィスの導入によって、児童虐待をより迅速に的確に対応すること、東京都との相互連携の強化のほか、人材育成の効果も期待され

ます。府中市では、子育て世代包括支援センター「みらい」で虐待に対する相談支援を行っています。虐待リスクに対し高度な対応が求められるケースに対する迅速な対応は子どもの命を守る上で欠かせないものです。

府中市においても児童相談所のサテライトオフィスの設置に向けた検討をする必要性が高まっていることから、市内への児童相談所のサテライトオフィスを設置することを要望しました。

(令和5年)	児童人口 (18歳未満)	総相談 受理件数	虐待相談 受理件数
府中市	3万8,369人	849件	463件
調布市	3万4,387人	771件	457件
多摩市	1万9,116人	528件	260件
稲城市	1万5,611人	330件	190件
狛江市	1万1,280人	230件	135件



大学に進学する学生への支援充実を

府中市は大学等に進学する生徒を対象に無利子の貸付奨学金をおこなっています。しかし奨学金事業の予算は年々減らされ続けており、予算が使い残る「不用額」も発生していました。12月議会の一般質問で私はこの実態を示して、より多くの人が利用できる進学支援の充実を求めました。

市は予算が減少してきた理由として「国の支援が充実し、申し込み人数が減っている」旨の答弁をおこないました。しかし、国の給付型奨学金を受けている学生は全体の10%程度。大学進学にお金がかかる現状は抜本的に変わっておらず、奨学金予算は減額ではなく、より多くの人が利用できるような要件の緩和や新たな支援も検討すべきだったのではないかと迫りました。

品川区は所得制限の無い給付型奨学金を来年度より実施します。八王子市は大学を卒業し定住する若者の奨学金返済を支援しています。こうした事例も紹介し、府中市も予算を減らすのではなく新たな支援を検討していくことを求めました。



▲今年度より授業料を10万円値上げした農工大

奨学金貸付事業の予算額	
20年	3,408万円
21年	2,959万円
22年	2,718万円
23年	2,352万円
24年	2,020万円



※1万円単位で掲載